



平成30年1月31日

佐賀県内経済情勢報告

平成30年1月

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所

<お問い合わせ先>

佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎
財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所 財務課

電話 (0952) 32-7161

ホームページアドレス

<http://fukuoka.mof.go.jp/html/saga/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	

(注) 30年1月判断は、前回29年10月判断以降、30年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は緩やかに持ち直しているほか、生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
----	---------------	--------------	------

個人消費	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	改善している	改善している	

設備投資	29年度は前年度を上回る見通し	29年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	29年度は増益見通し	29年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに景気回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売は、前年を下回っているものの、クリスマスやブラックフライデー等イベント関連商品のほか、冬物衣料が好調に推移している。コンビニエンスストア販売は、引き続き好調となっている。乗用車販売は、小型車は前年を下回っているものの、普通車、軽自動車は前年を上回っており、全体では前年を上回っている。家電販売は、携帯電話等が好調である。

(主なヒアリング結果)

- クリスマスやブラックフライデー等、イベントが多かったため、関連商品の売上げが好調であった。(スーパー、大企業)
- 11月以降の気温低下により、冬物衣料の売上が好調であった。(スーパー、大企業)
- 乗用車販売は、新型車販売の影響に伴い軽自動車が好調であったこと等から、前年を上回っている。(自動車販売団体)
- 携帯電話の買替えや新規需要により好調に推移したほか、寒さの影響で石油ストーブの売上が好調であった。(家電販売店、大企業)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

生産活動を主要業種でみると、食料品では、受注が好調であることから高操業が続いており、輸送機械では、新型車発売に伴い新製品の受注が増加したことから高操業となっているなど、概ねの業種で高操業が続いている。

- 引き続き受注が好調であることから、生産はフル操業が続いており、好調な状況が続いている。(食料品、中小企業)
- 新型車が発売されたことに伴い、新製品の受注が増加したことから、売上は好調な状況が続いており、生産もフル操業となっている。(輸送機械、中堅企業)
- 企業の設備投資が好調なことから、受注が増加しており、売上は大きく上昇したほか、操業度も上昇傾向にある。(電気機械器具、中小企業)

■ 雇用情勢 「改善している」

雇用情勢は、有効求人倍率は、引き続き高水準で推移している。新規求人数は、製造業等で増加していることから、全体では前年を上回っている。新規求職者数は、前年を下回っている。

- 人手不足の状況が続いている。なお、人手不足への対応として、求人募集方法の拡大や事業所内保育所の整備を行い、人手の充足や離職率の減少に努めている。(非鉄金属、大企業)
- バス運転士が不足しているため、募集方法の改善等の取組みを実施している。(運輸・郵便、中小企業)
- 有効求人倍率は、引き続き上昇傾向にある。雇用環境は、正社員の有効求人倍率が高水準を維持していることなどから、良い状況が続いている。(労働局)

■ **設備投資** 「29年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度の設備投資額は、製造業は前年比29.8%の増加見込み、非製造業は同14.7%の減少見込みとなっており、全産業では同15.5%の増加見込みとなっている。規模別にみると、大企業は増加見込み、中堅企業、中小企業は減少見込みとなっている。

■ **企業収益** 「29年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度の経常利益(「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く)は、製造業は前年比6.0%の増益見込み、非製造業は同6.9%の減益見込みとなっており、全産業では同2.3%の増益見込みとなっている。規模別にみると、大企業、中小企業は増益見込み、中堅企業は減益見込みとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回っている」

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、前年を上回っている。

■ **公共事業** 「前年度を上回っている」

公共事業を公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、前年度を上回っている。

(その他項目)

○ 企業の景況感を法人企業景気予測調査(29年10~12月期)の景況判断BSIでみると、29年10~12月期は、引き続き「上昇」超となっている。先行きについては、30年1~3月期は、「下降」超に転じる見通しとなっている。

○ 企業倒産の件数は、前年を上回っている。

○ 消費者物価(佐賀市)は、前年を上回っている。